

てらこや

平成 26 年
7 月 24 日(木)

大智院

おやくそく

※【てらこや】に休まず参加しよう※

てらこやがスタートして、四日目。初めて遅刻ゼロ！でした。てらこやに来た初日には、挨拶もろくにできなかつたり、廊下を走つたり、欠点だらけだった子どもたちも、一日、一日と、日を追うごとに少しずつ変わっていきます。

元気に挨拶し、静かに廊下を歩き、トイレのスリッパの整頓をし、進んでゴミを拾い、仲間の世話をし...と言ったように、六日間、毎日てらこやに来ることで、子どもは少しずつ成長していくのです。

ですから、てらこやは一日も休んでほしくないのです。一日でてらこやを休むことで、その日の学びがその子から失われてしまうからです。その日の学びの上に次の日の学びが積み重ねられて、学びが深まっていきます。土台になる学びが欠けてしまうと次の学びが宙に浮き、重ねることができません。連続で来て学んでこそ、子どもの大きな成長につながります。ぜひとも最終日まで休まずてらこやに来て下さい。

保護者の方も、一緒に参加して、集団の中のご自分のお子さんの様子を見つめ、その成長をぜひ毎日確かめてほしいと思います。そして、全員と一緒に成長して、今年のでらこやを締めくくりましょう。

※@マンダラ@って楽しいね！※

ローリンググルーラーに色鉛筆を突っ込んで回すと、不思議や不思議、紙の上に規則的に面白い形がどんどん生まれてきます。



「わあ、おもしろい！」と、歓声をあげてみんな楽しそう。「マンダラ」の模様がこんなに簡単に描けるなんて、ルーラーは不思議な定規ですよ。

- 一、あかるいあいさつ げんきなへんじ
- 二、きたときよりも うつくしく
- 三、よくかんがえ すすんでまなぶ



昔の子どもは、こんな道具を使って遊びを楽しんでいました。だから、手先が自然と器用になっていったのかもしれない。いろいろな道具を使うことは、頭の働きをよくするためにとっても大切なことです。てらこやの子どもたちには、進んでどんどんいろんな道具を使う経験をしてほしいと思います。なお、子どもたちの作品は、明日まで展示してあります。どうぞ、ご覧ください。『マンダラ(曼荼羅)』とは、諸尊の悟りの世界を象徴するものとして、一定の方式に基づいて諸仏・菩薩及び神々を網羅して描いた図のことです。

※今日の感想※

- ☆ちよっと難しかったけど、早くできた！
一年 高橋 優衣
- ☆色がにじんだけど、まあまあうまくできた。
四年 竹内 優輝
- ☆結構、スウスイできて、気持ちよかった。
四年 水野 源大

今日の参加者

子ども 一〇八人
大人 二十一人
☆明日も笑顔で

明日 25 日
お迎え時間
11 時に

お願い致します。

明日七月二十五日(金)の持ち物

○筆記用具・夏休みの友など
ぞうきん一枚・古新聞一枚・のり
大きめの封筒・新聞広告2枚・はさみ